

一般社団法人日本内科学会 令和5年度 第2回 理事会議事録

1. 日時 令和5年9月7日(木) 15時～16時50分

2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室を開催場所とする Web 会議

3. 理事総数 20名 出席した理事の数 18名

現地出席者 [理事]

南学正臣(理事長)の1名

Web出席者 [理事]

高橋裕樹、金井隆典(副理事長)、黒川峰夫、山内敏正、横手幸太郎、四柳 宏、花岡正幸、勝野雅央、新実彰男、和田隆志、中川義久、三井良之、服部 登、門脇則光(副理事長)、須藤信行、宮崎泰司、柳田素子の17名

[監事]

梶波康二、北園孝成の2名

[その他出席者]

渥美達也(第121回講演会会長)、中村昭伸(第121回講演会準備委員長)、竹原徹郎(第122回講演会会長)、疋田隼人(第122回講演会準備委員長)、横山彰仁(専門医制度審議会会長)、高橋和久(日本内科学会雑誌編集主任)、清水 渉(Internal Medicine 編集主任)、松村正巳(専門医部会会長)の8名

欠席者 [理事]

片桐秀樹、藤原靖弘の2名

[監事]

持田 智の1名

4. 議事の経過及び結果

南学正臣理事長が議長となり、次の20議案について逐次審議することとなった。本会議は Web 会議ソフト (Zoom) を利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、議事に入った。

第1議案 第120回講演会関係報告

事務局より、本年4月に開催した第120回講演会の会計報告があり、承認を得た。

第2議案 第121回講演会関係報告

(1) 開催概要について

渥美第121回講演会会長より、講演会の概要と日程表について報告があり、了承を得た。

(2) 一般演題について

渥美第121回講演会会長より、一般演題の募集について報告があり、了承を得た。

第3議案 専門医制度審議会関係報告

(1) 本年度審議会報告

横山審議会会長より、専門医制度審議会副会長、試験委員会、認定・更新委員会、救急委員会、J-OSLER 検討委員会、内科専門研修修了要件の見直し、第53回教育施設連絡会議の開催、文章生成 AI の J-OSLER での使用、プログラム及び専攻医募集、プログラムでの長時間労働、リカレント教育等について報告があり、了承を得た。

横手理事より、審議会会長試案は大変有意義であり、症例登録数の軽減を是非とも実現してほしいとの発言があった。また、専門医に対するアンケート調査の対象について質問があり、横山審議会会長より、専門医を取得した方全員を対象とする旨回答があった。

柳田理事より、働き方改革の影響で今後はチームでの診療体制になることが予想されるが、現状のシステムでは重複登録ができないため、登録できるように緩和していただきたいとの意見があり、横山審議会会長より、現状では主たる担当医ということになっているが、今後の情勢を鑑みて適切に判断していきたいとの回答があった。

(2) 第3回内科専門医資格認定試験合格者の認定

第3回内科専門医資格認定試験合格者2,416名の内科専門医資格の申請があり、承認を得た。

第4議案 専門医部会関係報告

松村専門医部会会長より、令和6年度予算、令和5年度事業中間報告、事業計画と令和5年度各支部および県単位の活動中間報告・活動計画、役員任期、専門医部会メーリングリスト、内科医のリカレント教育について報告があり、了承を得た。

第5議案 学会在り方検討委員会関係報告

四柳委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第6議案 学術集会運営委員会関係事項

門脇委員長より、本年度委員会の報告、第122回講演会の計画のアウトライン、第51回内科学の展望、「内科学の展望」の参加費見直し、日本東洋医学会からの学会共同企画開催の申し入れ等について報告があり、了承を得た。

竹原第 122 回講演会会長より、講演会準備の進捗状況について報告があり、了承を得た。

第 7 議案 生涯教育委員会関係報告

服部副委員長より、本年度委員会の報告、本年度生涯教育講演会の開催状況、2024 年度生涯教育講演会開催計画、本部・支部生涯教育講演会の在り方等についての報告があり、了承を得た。

第 8 議案 学術誌編集委員会関係報告

(1) 日本内科学会雑誌編集委員会報告

高橋編集主任より、本年度編集委員会、日本内科学会雑誌の本年度の発行状況と既に決まった特集号の内容や特別掲載の内容等について報告があり、了承を得た。

(2) Internal Medicine 編集委員会報告

清水編集主任より、Internal Medicine の本年度の Online Journal の発行状況と投稿数、採択率ならび採択数、Impact Factor (1.2)、ChatGPT 等の生成 AI に係る投稿規程の改訂について報告があり、了承を得た。

第 9 議案 総務委員会関係報告

(1) 本年度委員会報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

(2) 令和 6 年度名誉会員、功労会員候補者について

議長より、令和 6 年度名誉会員、功労会員候補者について説明があり、承認を得た。

(3) 令和 6 年度理事、各委員会委員候補者の推薦依頼について

議長より、支部からの令和 6 年度理事、各委員会委員候補者推薦の依頼について説明があり、了承を得た。

(4) 令和 6 年度評議員候補者の推薦依頼について

議長より、令和 6 年度評議員候補者の推薦依頼について説明があり、了承を得た。

(5) 行政処分にかかる会員の処分について（令和 5 年 8 月 9 日発効）

議長より、厚生労働省の行政処分（令和 5 年 8 月 9 日発効）を受けた会員 1 名に対して提示資料の通り処分したいとの提案があり、承認を得た。

第 10 議案 医療安全委員会関係報告

高橋委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 11 議案 倫理委員会関係報告

新実委員長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 12 議案 AI プロジェクト委員会関係報告

議長より、本年度委員会の報告があり、了承を得た。

第 13 議案 財務・組織管理委員会関係報告

事務局より、基幹システムリプレースプロジェクトの今後の計画について説明があり、了承を得た。

第 14 議案 ダイバーシティ推進委員会関係報告

柳田委員長より、本年度第 1 回の委員会開催日について報告があり、了承を得た。なお、本委員会の下部に若手委員会を設置したいと考えており、その詳細・条件等について検討する予定であるとの発言があった。

第 15 議案 学術委員会関係報告

黒川副委員長より、本年度はまだ委員会は開催されていないが、今後ガイドライン変更等の依頼があった際には、書面審議をベースに開催する予定である旨報告があり、了承を得た。

第 16 議案 支部関係報告

(1) 令和 6 年度支部助成金について

事務局より、コロナ禍を経て地方会の運営方法が多様化したことに伴い、一部の支部で財政収支が悪化し、助成金増加に強い要請があること、また、現状の助成金配分ロジックは、会員数のみで算出しているため、助成金ストック残高の 2 極化（潤沢な支部と枯渇している支部とに二分）を助長してしまっているという現状について報告があり、今後の地方会の現地開催による支部活動の活性化、内科医の PR 強化を進めていくための配分ロジックの見直し案について説明と提案があった。

議長より、来年度の支部助成金の配分ロジックについては、事務局から提案された『従来ロジックと登録演題数ロジックの折衷案』を採用し、今後も引き続きベストな形の配分ロジックを検討していきたいとの提案があり、承認を得た。

(2) 本年度支部代表者会議開催日

勝野担当理事より、本年度の支部代表者会議の開催日程について報告があり、了承を得た。

第 17 議案 120 周年記念誌の作成について

議長より、本記念誌の発行予定が 9 月から 12 月にずれ込むこととなった旨報告があり、了承を得た。

第 18 議案 新入会者の件

議長より、本年 5 月 24 日から本年 9 月 6 日までに 321 名の入会者があったとの報告があり、承認を得た。

第 19 議案 日本専門医機構関係報告

事務局より、令和 4 年度決算報告、令和 6 年度専攻医応募に向けて、認定内科医の取り扱い、サブスペシャリティ領域、ダブルボード等について報告があり、了承を得た。

柳田理事より、サブスペシャリティ領域の上限数について内科学会として何か働きかけはするのかとの質問があった。事務局より、内科は現状、最大 6 領域まで追加可能であり、これまでの申請状況から、この枠は余るのではないのかとの回答が

あった。

第20議案 その他

議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和5年9月7日

一般社団法人日本内科学会理事会 議長（理事長） 南学 正臣

議事録署名人（監事） 梶波 康二

議事録署名人（監事） 北園 孝成